



ね っ ち ゅ う し ょ う

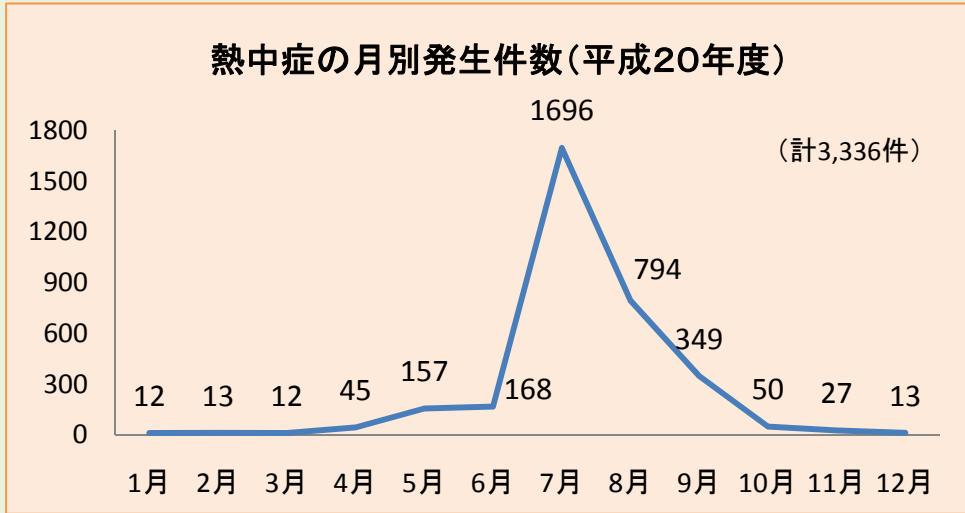
ち ゅ う い

# 熱中症に注意しよう！ Part 2

平成21年7月号で掲載した「夏だ！熱中症に注意しよう！」の第2弾です。今回は、月別の発生件数と災害事例、応急手当についてご紹介します。前回掲載分(学校種別・水分補給のポイント)とあわせてご活用ください。

右図をみると、熱中症の発生件数は7月に急激に増加し、全件数の半分を占めていることがわかります。

とはいえ、熱中症は夏に限らず発生する疾病で、5月～10月にかけての件数も多くなっています。気温が上がってくる春先からも注意が必要です。



平成20年度災害共済給支給データから

## 平成20年度 災害事例



### ★★ 高い気温に注意！ ★★

臨海学校2日目。その日の気温は35℃で浜の気温も45℃あった。本人は準備体操を行おうと浜にて皆と行動していたが、体調が悪くなり申し出てきた。

### ★★ 気温だけでなく、高湿度にも要注意！ ★★

国民体育大会ボート競技選考会の閉会式に出席中、開始約10分後に気を失って倒れた。なお、当日の天気は晴・気温25.9度・湿度73%であった。

### ★★ 暑さや練習に慣れていない時は無理せずに！ ★★

腰の故障で練習を長期間休んでいたが、この日は久しぶりに試合に参加した。体が慣れていないことと炎天下が重なり、試合中に頭痛や吐き気がするようになった。

### ★★ 冬でも熱中症が起きています！ ★★

50メートルのシャトルランをしていた際、水分補給が十分でなかったため右足のふくらはぎが攣り、右足のふくらはぎから太股にかけてけいれんが始まった。(12月発生)



# 応急処置のポイント！

～熱中症の症状によって、処置の仕方がちがいます。あわてず対応をしましょう！～

